

児童手当制度が一部変更になります

毎年6月に提出が必要な「現況届」の提出が原則として不要になります。継続して提出が必要な人には、6月上旬に届け出用紙などを送付しますので、6月30日(木)までに忘れずに提出してください。提出がない場合は、6月分以降の手当が支給停止になるため、ご注意ください。

令和4年10月支給分から、一定以上の所得のある人に支給している「特例給付」に所得の上限が設けられます。これにより、特例給付の支給を受けられなくなる人がいます。

■所得の上限額について

下の【表】のとおりです。特例給付該当となる所得制限限度額に変更はありません。

■届け出について

受給者や児童の届け出内容に変更がある場合は、忘れずに届け出てください。詳しくは町ホームページを確認してください。

■公務員の場合

公務員の場合は勤務先から児童手当が支給されます。公務員になった場合、公務員でなくなった場合、公務員で勤務先の官署に変更がある場合は、勤務先と住所地の市町村に届け出や申請をしてください。

■その他

特例給付の所得上限を超えた人は、資格喪失となります。翌年度以降に所得上限を下回り、手当を受給する場合は改めて申請が必要です。申請が遅れると、遅れた月分の手当は原則受けられませんので注意してください。

■提出・問い合わせ先…町民福祉課 ☎46-5562

【表】所得上限限度額(令和4年10月支給分より新設)

扶養親族などの数(カッコ内は例)	所得額	収入額の目安
0人 (前年末に児童が生まれていない場合など)	858万円	1,071万円
1人 (児童1人の場合など)	896万円	1,124万円
2人 (児童1人+年収103万円以下の配偶者の場合など)	934万円	1,162万円
3人 (児童2人+年収103万円以下の配偶者の場合など)	972万円	1,200万円
4人 (児童3人+年収103万円以下の配偶者の場合など)	1,010万円	1,238万円
5人 (児童4人+年収103万円以下の配偶者の場合など)	1,048万円	1,276万円

がん治療に伴う 医療用補正具購入費用助成事業 を実施

町では、がん治療中の方が安心して療養生活や社会生活を送るため、医療用ウィッグや乳房補正具の購入に係る費用の一部を助成しています。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

■対象者

- ▷町に住所がある人
- ▷がんの治療を受け、脱毛、乳房切除などにより補正具を購入した人
- ▷申請する年度に購入した補正具であること
- ▷過去に本事業の助成を受けたことがない人

■対象の補正具と助成額

補正具の種類	助成金額(上限)	助成対象の経費
医療用ウィッグ	30,000円	医療用ウィッグ(全頭用)本体1台の購入経費
乳房補正具	20,000円(片側)	補正パッドまたは人工乳房本体1個の購入経費

■問い合わせ先

保健センター ☎46-5571

発掘最前線 203 平泉を掘る

平泉世界遺産ガイドランスセンターの展示紹介(柳之御所②)

4回にわたる平泉世界遺産ガイドランスセンターの展示紹介、最終回は奥州藤原氏滅亡後の平泉と柳之御所遺跡の保存・整備について紹介します。
奥州藤原氏滅亡後の平泉では、奥州合戦や義経北行伝説、後世の寺院や文人に与えた影響など、中世以降の平泉の歴史について触れています。
そして、1988年から始まった柳之御所遺跡の大規模な発掘調査は、平泉の世界遺産登録にとって非常に重要なものとなりました。

一関遊水地および平泉バイパス建設に伴う発掘調査で多くの建物や池、井戸などの跡や遺物など、重要な発見が相次いだことから、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に記される「平泉館」と推定されました。このことから遺跡保存の機運が高まり、国がバイパスルートを変更することにより、遺跡は保存されました。その後、1997年に国の史跡に指定されています。展示室では遺跡保存に関する署名や保存に伴うバイパスルートの変遷を示す模型(写真1)、発掘調査と史跡公園整備に関する映像(写真2)などの展示で、柳之御所遺跡の発掘、保存、整備の過程が理解できるようになっています。この柳之御所遺跡の保存がきっかけとなり、世界遺産登録に向けた動きが起ころ、2011年6月、世界遺産に登録されました。

展示室を出るとガラス張りのホールや屋外広場が広がっており、周辺景観を眺めることができます。展示紹介は今回で終わりますが、これからもさまざまな企画展示や講座などを開催していきますので、引き続き皆さんの来館をお待ちしています。
(県立平泉世界遺産ガイドランスセンター)

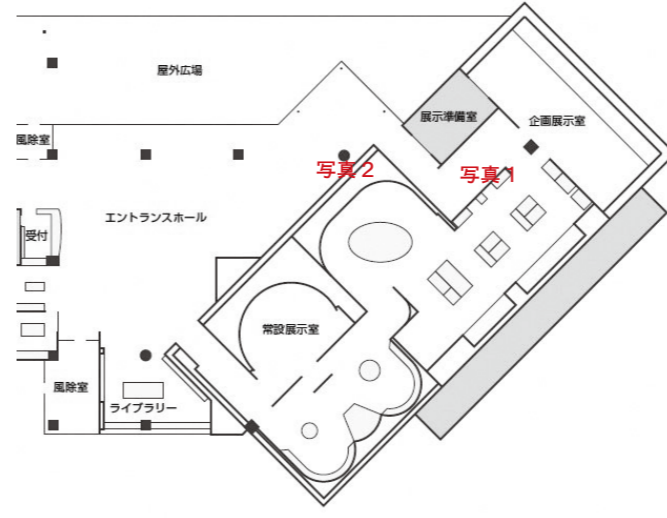
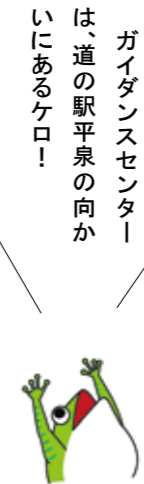


図 展示室と今回紹介箇所



©2013岩手県 ケロ平 designed by センウェル



写真2 柳之御所遺跡の発掘と整備に関する映像 一関遊水地・平泉バイパス建設事業の必要性から、遺跡の発掘調査の様子、遺跡保存、公園整備への経過が4分ほどの映像で表現されています。

写真1 柳之御所遺跡保存の要望書(上)とルート変更に伴う模型(下)

柳之御所遺跡の保存のため、20万人分の署名が集まりました。遺跡保存にあたり、北上川の河道や平泉バイパスのルートを変更しました。模型ではその当初のルートと変更後のルートを表示しています。

